

ハンミョウ(班猫)コウチュウ目ハンミョウ科ハンミョウ属

- ハンミョウの仲間の外見は、色彩が豊かで金属的にテカテカ輝いていて、その模様は種類によってさまざまに異なります。大きな複眼と大顎を持ち俊敏な動きで、ミミズや他の小型昆虫を捕えて食べる肉食性の昆虫です。人が遊歩道や山道を歩いていると、数 m 飛んで後ろを振り返り、それを繰り返すので「道教え」とも呼ばれています。

ハンミョウの仲間



Cicindela japonica



Cicindela aurulenta



Cicindela anchoralis



Cicindela japonica okinawana

ハンミョウ

ヤブダシハンミョウ

イカリモンハンミョウ

オキナワハンミョウ

1. ハンミョウって、どんな生き物？

ハンミョウは、とてもきれいな色をした昆虫です。

草のあまり生えていない、日当たりの良い空き地にくらしています。

成虫は地面を走り回り、ほかの虫をおそって食べます。

幼虫は地面に掘った巣穴で、獲物が来るのをじっと待っています。

一度巣穴をほると、同じ場所からほとんど動きません。

2. 卵から大人になるまで

卵は生まれてから 10 日～1 か月くらいでかえります。

幼虫は 3 回皮をぬいで、さなぎになります。

生まれたばかりの幼虫を1齢、1回皮をぬぐと2齢、
2回皮をぬぐと3齢と言います。

さなぎになるまでの時間は、幼虫の時にどれくらいエサを
食べたかによって違います。

3. いろいろなハンミョウ

日本にはハンミョウの仲間は25種類います。

種類によって、好きな場所がちがいます。

ほとんどの幼虫は、地面に穴を掘ってくらしています。

成虫は、ほかの虫をおそって食べます。

(参考：青木由親^{あおきよしちか} 「よみきかせ いきもの しゃしんえほん 40 うまれたよ! ハンミョウ」

岩崎書店 2021.2.28.)